

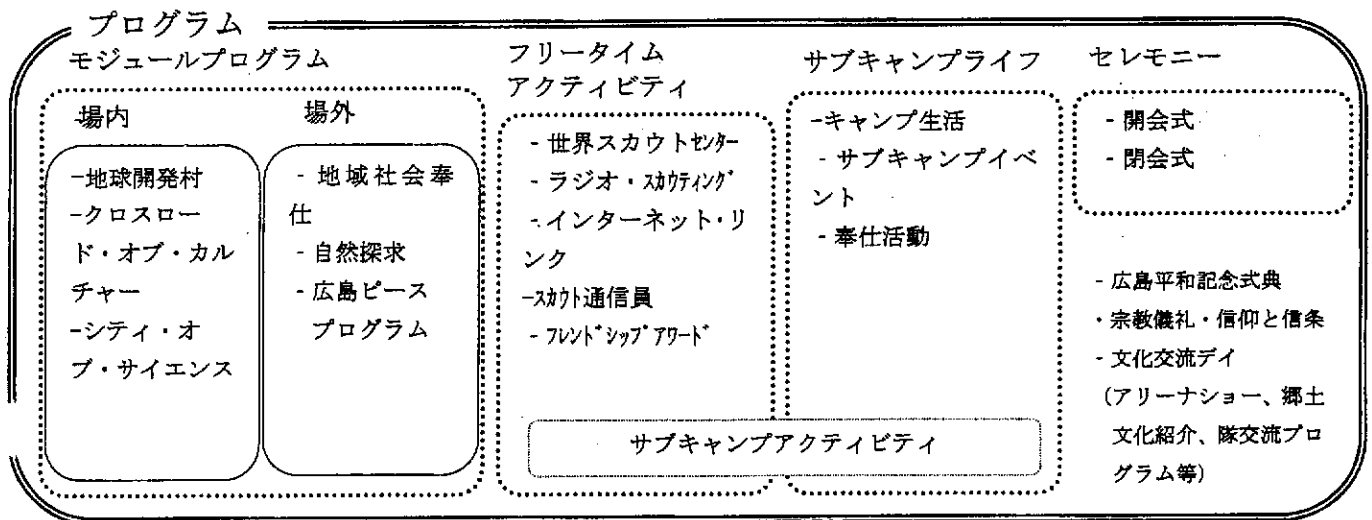
第23回世界スカウトジャンボリー（2015年開催）および
第16回日本ジャンボリー（2013年開催）のプログラム概要

2012年7月25日現在

1. 全体像

大会の参加者であるスカウトたちが、大会期間中に参加する、体験する、行動する全ての事柄を総称して「大会プログラム」と呼びます（以下、「プログラム」と称します）。大会期間中の野営（キャンプ）生活や開閉会式などの行事も、全てプログラムとなります。そのプログラムは、下図のとおり、大きく4つのカテゴリーに分類されます。

- ①「モジュールアクティビティ」…大会の中心となる体験プログラム活動で、テーマ分野、目的の設定があり、会場内外で実施されます。また、すべての参加者が参加できるようにスケジュールが組まれます。
- ②「フリータイムアクティビティ」…参加者が自主的に活動を行う体験活動
- ③「サブキャンプライフ」…サブキャンプと呼ばれる生活場所における、キャンプ生活
- ④「セレモニー」…開閉会式などの、すべての参加者が一堂に会する行事



この中で、大会全体のプログラムの中核を成し、文字通り大会の中心的実施プログラムとなるのが①の「モジュールプログラム」です。大会プログラムの基本構成単位として分野別でテーマ性を有し、多種多様な個別プログラムを1つのモジュールで40から60程展開します

この大会プログラムは、原則的に「世界共通のテーマ性ある実施プログラム」として、ボーイスカウトの世界における本部機構「世界スカウト機構（WOSM）」が定める「世界スカウトユースイベントガイドライン」に則り展開されるものです。

2. 第16回日本ジャンボリースケジュール(例)

(1) 日程

平成25年7月31日(水)～8月8日(木) 8泊9日

(2) スケジュール概要

	29日 (月)	30日 (火)	31日 (水)	1日 (木)	2日 (金)	3日 (土)	4日 (日)	5日 (月)	6日 (火)	7日 (水)	8日 (木)	9日 (金)
06:00	起床											
07:30	朝食											
09:00	大会運営スタッフ到着	大会運営スタッフトレーニング	参加者到着	参加者到着	プログラム&アクティビティ	宗教儀礼	プログラム&アクティビティ				参加者出発	大会運営スタッフ出発
12:00				昼食								
14:00				開会式	プログラム&アクティビティ	アリーナイイベント	プログラム&アクティビティ					
18:00				夕食								
19:30	夜のプログラム											

3. 第23回世界スカウトジャンボリースケジュール(例)

(1) 日程

平成25年7月28日(火)～8月8日(土) 11泊12日

(2) 全体スケジュール

	25日 (土)	26日 (日)	27日 (月)	28日 (火)	29日 (水)	30日 (木)	31日 (金)	1日 (土)	2日 (日)	3日 (月)	4日 (火)	5日 (水)	6日 (木)	7日 (金)	8日 (土)	9日 (日)
6:00	起床															
7:30	朝食															
9:00	大会運営スタッフ到着	大会運営スタッフトレーニング	大会運営スタッフトレーニング	日本参加者到着	外国参加者到着	外国参加者到着	プログラム&アクティビティ	宗教儀礼	プログラム&アクティビティ				外国参加者出発	大会運営スタッフ出発	日本参加者出発	
12:00							昼食									
14:00							プログラム&アクティビティ	アリーナイイベント	プログラム&アクティビティ							
18:00							夕食									閉会式
19:30	夜のアクティビティ															

4. プログラムについて

地球開発村 Global Development Village (GDV)

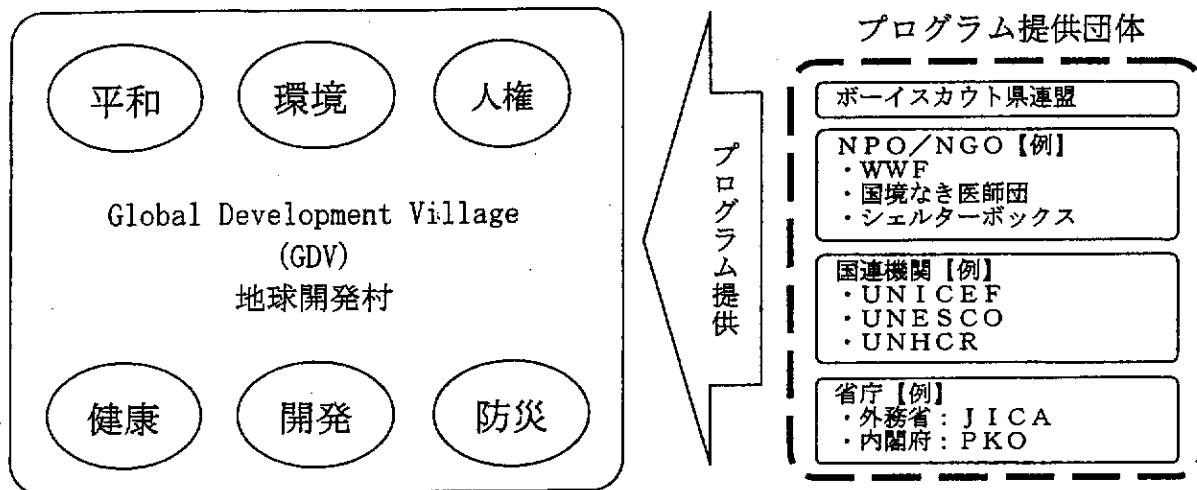
(1) 概要

地球規模の多くの問題とその重要性に対して「平和」「環境」「人権」「防災」「健康」「開発」の6つの視点から意識を高め、改善に向けた活動への動機付けを目標とする。特に「火山・地震・津波等の災害への対応」をクローズアップする。災害に関するグローバルネットワークについて、国連機関、NGO、NPO等に積極的に協力を依頼する。

これらの内容は、インターネット等を通じて、事前プログラムとして参加者に公開すると共に、ジョイン・イン・ジャンボリーとして、参加者以外にもプログラムとして提供する。

世界戦略「リーチングアウト」(手を差し伸べる)の一環としては、国際障害スカウト大会「日本アグーナリー」の実績を活かし、誰にでも参加出来るプログラムを用意する。

(2) イメージ図

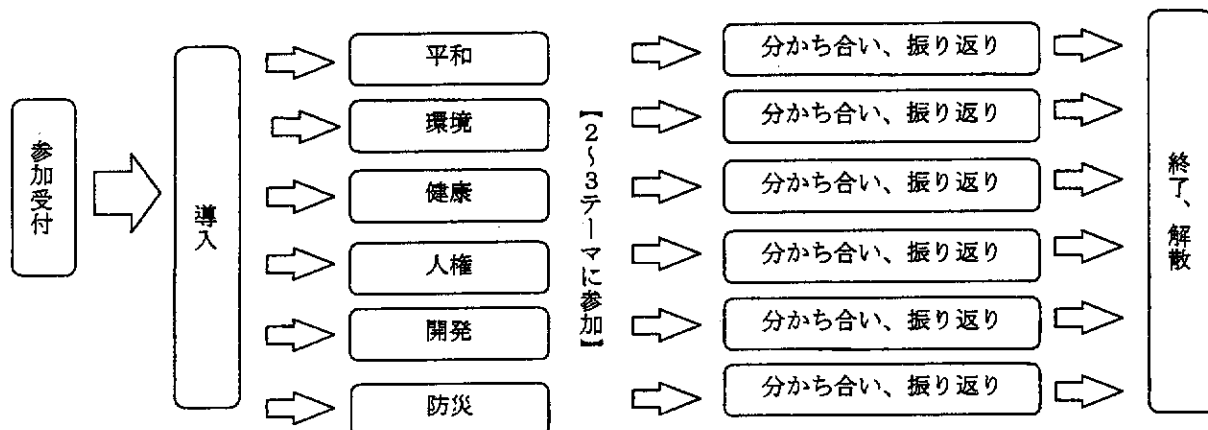


(3) 教育目標 (例)

アクティビティ終了までにスカウトが以下の項目を達成していることを目標とする。

- ・平和、環境、健康、人権、開発、防災といった視点から世界が抱える問題を知る
- ・自分自身の生活が小さな社会の中で成り立っているのではなく、世界に広がっていることを知る
- ・自分が行動することで、社会に貢献出来ることを知る
- ・ジャンボリー終了後、地域に戻った後に行動しようと思うきっかけを作る

(4) 参加の流れ (検討中)



(5) 修了方法 (検討中)

- ① 60分間ワークショップに1回参加すること
- ② 展示・体験ブースに3回参加すること (16NJでは2回)

(6) 実施に関して

① プログラム数：64プログラム

② プログラム提供方法

ワークショップ形式：ワークショップでは1回に2班から4班(20人から40人)程度を対象にし、参加スカウトがグループワークを通じて学ぶ双方向の教育的な60分間のアクティビティを提供します。ジャンボリー期間中に、すべての参加スカウトが少なくとも1つのワークショップに参加することになります。

展示ブース形式：展示ブースでは、テーマ別に社会が抱える課題に関する基本的な内容や様々な活動の写真やパネル等により、スカウトたちに問題意識を与え、自分の考えやアイデアをまとめ、より理解を深める機会を与えます。

③ 参加者数想定

ワークショップの場合…1回あたり20人～40人程度、1日合計200人程度

展示ブースの場合…1回あたり20人程度、1日合計400人程度

	8月2日(金)	8月3日(土)	8月4日(日)	8月5日(月)	8月6日(火)
午前	2200	2200		★1200	1600
午後	1600	※		2200	2200

※何らかの事情で、他の時間枠に参加出来ないスカウトへの対応を調整中

④ 実施時間帯

	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時
ワークショップ	↔	↔	↔	昼食・休憩		↔	↔	↔
展示ブース	↔	↔	↔	昼食・休憩		↔	↔	↔

⑤ 各ワークショップ・展示ブースへの貸与物 (調整中)

テント (3.6m x 5.4m) …1張り

机 (180cm x 45cm x 70cm) …2卓

パイプ椅子…4脚

※但し、テントにおける電源の供給はありません

(7) ワークショップの展開について

60分ワークショップの場合	展示ブースの場合
0	0
↑ 導入：参加者の簡単な自己紹介や アイスブレイキングゲーム (10分)	↑ 展示エリアの見学 (15分)
10	
↑ 問題提起 (15分)	↑ ワークシートへの記入 (10分)
20	
↑ 質疑応答 (5分)	↑ 振り返り・わかちあいの時間 (5分)
30	
↑ グループワーク (20分)	
40	
↑ 振り返り・わかちあいの時間 (10分)	
50	
60	

(8) 16NJにおける地球開発村の実施アクティビティ例 (現時点 案)

	テーマ	ワークショップ・ブース	実施内容の案	依頼先案
1	平和	平和維持活動	平和維持活動の活動地域、目的、誰が実施しているのかを学ぶためのプログラム	内閣府平和協力活動本部事務局
2	平和	世界での平和活動	世界の平和について考える	ワールド・ビジョン
3	平和	世界での平和活動	世界の平和について考える	ジャパン・プラットフォーム
4	平和	地雷教育	アフガニスタン等で実施される地雷教育を通じて平和を考える	県連盟派遣団提供プログラム (愛知)
5	平和	障がい者等体験	車椅子・ろう者体験	県連盟派遣団提供プログラム
6	平和	赤十字活動の理解と参画	国際的視点から赤十字活動を知る	県連盟派遣団提供プログラム(神奈川)
7	環境	生物多様性・生態系	生物多様性と何か、なぜ多様性を保つ必要があるのかなどを知り、重要性を考えるプログラム	国連環境計画 (UNEP)
8	環境	リサイクル	牛乳パックの紙すき体験	県連盟派遣団提供プログラム (愛知)
9	環境	世界遺産保護	世界遺産として保護する理由やメリットを知ること、歴史の重要性を理解するプログラム	社団法人 日本ユネスコ協会連盟
10	環境	地球温暖化対策	地球温暖化の現状を知り、世界各地での具体的な対応を知る	公益財団法人 WWF
11	環境	環境	住居の問題について考える	国連人間居住計画 (UNHABITAT)
12	環境	青少年を取り巻く環境	世界の生活・教育環境を知る	国連児童基金 (UNICEF)
13	環境	ユニバーサルデザイン	ユニバーサルについて考える	ユニバーサルイベント協会
14	環境	公害の原点「足尾鉍毒事件」	公害と環境について考える	県連盟派遣団提供プログラム(栃木)
15	環境	環境保全活動について	谷津干潟と環境保全を考える	県連盟派遣団提供プログラム(千葉)
16	環境	水について考える ①	「川の国 埼玉県から」の提言	県連盟派遣団提供プログラム(埼玉)
17	環境	生活上の水についての理解	水の循環を理解する	県連盟派遣団提供プログラム(神奈川)
18	環境	トキの野生復帰から学ぶ	人と自然の持続可能な共生を学ぶ	県連盟派遣団提供プログラム(新潟)
19	環境	エコキャップ回収から考える	(詳細検討中)	県連盟派遣団提供プログラム(石川)
20	環境	(内容検討中)	(詳細検討中)	県連盟派遣団提供プログラム(奈良)
21	環境	環境微生物の効用を知る	環境微生物による環境改善	県連盟派遣団提供プログラム(愛媛)
22	環境	公害とリサイクル	公害と環境について考える	県連盟派遣団提供プログラム(福岡)
23	健康	世界の給食	世界の食料事情について知り、飢餓への対応としての給食の在り方を学ぶプログラム	国連世界食糧計画 WFP
24	健康	水と衛生	飲料水や水の安全性について	NPO 日本水フォーラム
25	健康	ドラッグの危険性	ドラッグの危険性を考える	麻薬・覚せい剤乱用防止センター 県連盟派遣団提供プログラム (福岡)
26	健康	世界の医療事情	世界の医療事情について知る	NPO 国境なき医師団日本
27	健康	HIV・AIDS	HIV・AIDSから自分を守る手段を知る	公益財団法人 エイズ予防財団
28	健康	母子手帳	母子手帳の活用について知る	NPO HANDS
29	健康	水について考える ②	体の中の「水」について考える	県連盟派遣団提供プログラム(埼玉)
30	健康	カラーチームドリル体験	集団演技の基礎を体験する	県連盟派遣団提供プログラム(神奈川)
31	人権	ストリートチルドレン	Ticket To Life Project について	WOSM・APR事務局
32	人権	児童労働	児童労働の現状と課題を考える	公益社団 セーブ・ザ・チルドレン

	テーマ	ワークショップ・ブース	実施内容の案	依頼先案
33	人権	難民	難民の人権について考える	国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)
34	人権	人権侵害	世界の人権侵害について考える	アムネスティ国際
35	人権	ジェンダー教育	ジェンダーについて考える	NPO LGBT 家族と友人をつなぐ会
36	人権	経口補水塩水	生活体験を通じて人権を考える	県連盟派遣団提供プログラム (愛知)
37	開発	持続可能な社会	持続可能な社会について考える	NPO ESD-J
38	開発	公正な地球社会	公正な地球社会について考える	国連開発計画 (UNDP)
39	開発	MDGs	MDGs の活動について知る	国連広報センター
40	開発	国際協力	国際協力について考える	独立行政法人 国際協力機構
41	開発	通貨・為替相場	経済安定の必要性について考える	国際通貨基金 (IMF)
42	開発	マイクロファイナンス	マイクロファイナンスについて考える	グラミン銀行/NGO等
43	開発	開発教育	開発教育プログラムを体験する	開発教育協会 (DEAR)
44	開発	日本の持続可能な社会	江戸の生活を知る	江戸東京博物館
45	開発	人口問題と食料問題	日々の食事のありがたさを知る	県連盟派遣団提供プログラム (千葉)
46	防災	東日本大震災の被災状況	被災状況を知る	
47	防災	東日本大震災からの復興	復興に向けた現状と課題を考える	市民災害救援センターRQ
48	防災	災害時のスカウトの取り組み	阪神淡路大震災の際のスカウトによる救援活動を知る	県連盟派遣団提供プログラム (兵庫)
49	防災	地震体験	起振車で地震を疑似体験する	消防学校等 (起振車の貸与)
50	防災	災害時の救援用品	シェルターボックスの活動を通して救援活動を知る	シェルターボックス
51	防災	防災グッズ作り	防災対策として新たな防災グッズを考える	県連盟派遣団提供プログラム (兵庫)
52	防災	防災対策について	防災対策のアクションプランを作る	県連盟派遣団提供プログラム (兵庫)
53	防災	防災頭巾作り	防災頭巾を作る	県連盟派遣団提供プログラム (愛知)
54	防災	水について考える ③	「水」を制する、水防対策を知る	県連盟派遣団提供プログラム (埼玉)
55	分野未定	(内容検討中) ①	(詳細検討中)	県連盟派遣団提供プログラム (群馬)
56	分野未定	(内容検討中) ②	(詳細検討中)	県連盟派遣団提供プログラム (千葉 1)
57	分野未定	(内容検討中) ③	(詳細検討中)	県連盟派遣団提供プログラム (千葉 2)
58	分野未定	(内容検討中) ④	(詳細検討中)	県連盟派遣団提供プログラム (東京 1)
59	分野未定	(内容検討中) ⑤	(詳細検討中)	県連盟派遣団提供プログラム (東京 2)
60	分野未定	(内容検討中) ⑥	(詳細検討中)	県連盟派遣団提供プログラム (東京 3)
61	分野未定	(内容検討中) ⑦	(詳細検討中)	県連盟派遣団提供プログラム (東京 4)
62	分野未定	(内容検討中) ⑦	(詳細検討中)	県連盟派遣団提供プログラム (静岡 1)
63	分野未定	(内容検討中) ⑦	(詳細検討中)	県連盟派遣団提供プログラム (静岡 2)
64	分野未定	(内容検討中) ⑧	(詳細検討中)	県連盟派遣団提供プログラム (岐阜)

※ ブース数は64ブース想定

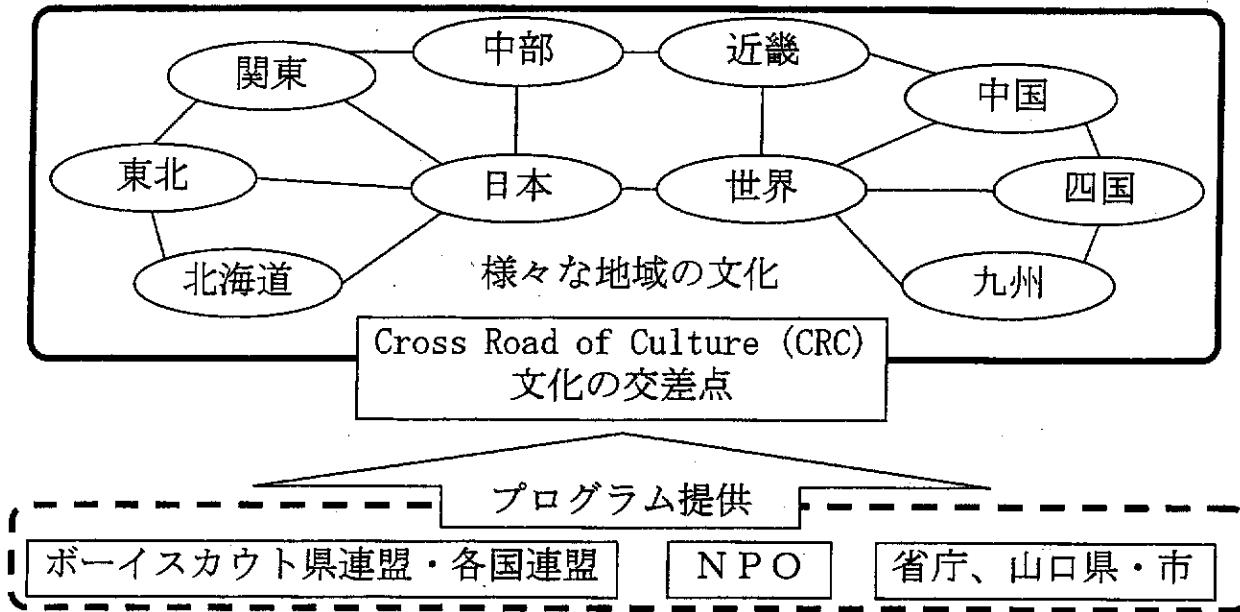
クロスロード・オブ・カルチャー Cross Road of Culture (CRC) について

(1) 概要

文化の交差点は半日のモジュールプログラムで、世界各国独自の音楽、踊り、衣装、食事などの文化を体験することで、文化の多様性について理解し、他の文化と自国の文化に対する感謝と尊敬の念を養う。世界の文化を対象とし、各国派遣団提供プログラムを受け入れると共に、「日本への文化の伝来」や「ヨーロッパからアメリカへの文化の伝来」、「シルクロードによる文化の伝来」等の「伝来」を理解する場とする。

そして、「世界の文化が花咲く開催国日本」への理解を深めることを目標とする。また、日本から発信する「アニメ」等の現代文化の紹介（クールジャパン政策）を会場内にスタジオを設置し、「制作技術」を含めて行う。また、会場内で「ムービーフェスタ」を開催する。

(2) イメージ図

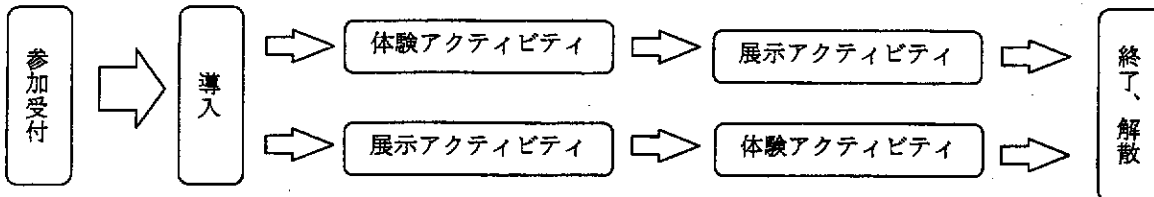


(3) 教育目標 (例)

アクティビティ終了までにスカウトが以下の項目を達成していることを目標とする。

- ・自分の文化とは違う文化を体験する
- ・文化の違いを発見し、理解し、尊重するための下地を作る
- ・文化のつながり、伝来を理解する
- ・ジャンボリー終了後、自分の文化をより知ろうと思うきっかけを作る

(4) 参加の流れ (検討中)



(5) 修了方法 (検討中)

- ① 60分間体験プログラムに1回参加すること
- ② 展示・体験ブースに2回参加すること (16NJでは1回)

(6) 実施に関して

①プログラム数：48プログラム

②プログラム提供方法

体験アクティビティ形式：体験プログラムでは、20人から40人程度を対象に、スカウトがクラフトやダンス等に参加し、体験を共有すること出来る60分間のプログラムを提供します。

展示ブース形式：展示ブースでは、写真やパネル等により、参加スカウトに様々な文化を知る機会を提供します。展示に関するクイズ等により、より理解を深めるプログラムが考えられます。

③参加者数想定

体験アクティビティの場合…1回あたり20人～40人程度、1日合計200人程度

展示ブースの場合…1回あたり20人程度、1日合計400人程度

	8月2日(金)	8月3日(土)	8月4日(日)	8月5日(月)	8月6日(火)
午前	1000	2200		1200	2200
午後	1600	1000		★2800	1200

⑤実施時間帯

	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時
体験アクティビティ	←→	←→	←→	昼食・休憩		←→	←→	←→	
展示ブース	←→					←→			

⑥各ワークショップ・展示ブースへの貸与物(調整中)

テント(3.6m x 5.4m)…テント半区画または1張り

机(180cm x 45cm x 70cm)…2卓

パイプ椅子…4脚

※但し、テントにおける電源の供給はありません

(7) 体験アクティビティ・展示ブースの展開について

体験アクティビティの場合		展示ブースの場合	
0	↑ 体験アクティビティの説明(10分)	0	↑ 展示エリアの見学(15分)
10	↓	10	↓
20	↑ 体験アクティビティ(40分)	20	↑ ワークシートへの記入(10分)
30	↓	30	↑ 振り返り・わかちあいの時間(5分)
40	↓	40	↓
50	↑ 参加者発表(10分)	50	↓
60	↓	60	↓

(8) 16NJにおけるクロスロード・オブ・カルチャーの実施アクティビティ例(現時点 案)

	テーマ	アクティビティ内容案	実施依頼先
1	アイヌ文化	アイヌ文化の紹介	東北 派遣団提供プログラム
2	音楽体験	津軽三味線の演奏体験	東北 派遣団提供プログラム
3	工芸体験	こけし作り体験	東北 派遣団提供プログラム
4	踊り体験	花笠踊りの衣装・踊り体験	東北 派遣団提供プログラム
5	工芸体験	会津漆器作り体験	東北 派遣団提供プログラム
6	(内容検討中)	(詳細検討中)	派遣団提供プログラム(秋田)
7	地域の紹介	福島が再生し始めている姿を伝える	派遣団提供プログラム(福島)
8	古代の「火」	古代の火に関する考え方、火熾し体験	派遣団提供プログラム(栃木)
9	こんにやく作り	こんにやく作り体験	派遣団提供プログラム(群馬)
10	アニメーション	アニメーションが作られるまで、制作体験	派遣団提供プログラム(埼玉)
11	測量ゲーム	伊能忠敬を知り、測量ゲームを体験	派遣団提供プログラム(千葉)
12	箱根寄木細工	緻密な伝統工芸「箱根寄木細工」を体験	派遣団提供プログラム(神奈川)
13	(内容検討中)	(詳細検討中)	派遣団提供プログラム(東京)
14	茶道体験	茶道体験	派遣団提供プログラム(愛知)
15	工芸体験	Tシャツ友禅染体験	中部 派遣団提供プログラム
16	鋳物を知る	伝統産業「鋳物」について学び、体験する	派遣団提供プログラム(富山)
17	(内容検討中)	(詳細検討中)	派遣団提供プログラム(石川)
18	福井の地勢、文化	福井をパネルにより具体的に紹介、アンケート実施	派遣団提供プログラム(福井)
19	(内容検討中)	(詳細検討中)	派遣団提供プログラム(岐阜)
20	(内容検討中)	(詳細検討中)	派遣団提供プログラム(静岡)
21	衣装体験	伊賀忍者体験	近畿 派遣団提供プログラム
22	衣装体験	甲賀忍者体験	近畿 派遣団提供プログラム
23	衣装体験	舞妓・侍について知るプログラム	近畿 派遣団提供プログラム
24	お城紹介	姫路場の紹介プログラム	派遣団提供プログラム(兵庫)
25	(内容検討中)	(詳細検討中)	派遣団提供プログラム(奈良)
26	地域文化の紹介	世界遺産「高野山」など和歌山の文化を知る	派遣団提供プログラム(和歌山)
27		熊野筆で習字体験	中国 派遣団提供プログラム
28	踊り体験	阿波踊り体験	中国 派遣団提供プログラム
29	工芸体験	土佐和紙作り体験	中国 派遣団提供プログラム
30	郷土文化の紹介	銭太鼓作り、安来節体験、工作など	派遣団提供プログラム(島根)
31	(内容検討中)	(詳細検討中)	派遣団提供プログラム(広島)
32	うちわづくり	特産品「うちわ」の製作体験、省エネ理解	派遣団提供プログラム(香川)
33	水引製作	伝統工芸品「水引」を製作し伝統文化を知る	派遣団提供プログラム(愛媛)
34	偉人を知る	竜馬の事を知る	派遣団提供プログラム(高知)
35			四国 派遣団提供プログラム
36			九州 派遣団提供プログラム
37	衣装体験	葉隠：武士道体験	九州 派遣団提供プログラム
38	音楽体験	三線の演奏体験、エイサー体験	九州 派遣団提供プログラム
39	郷土文化の紹介	炭鉱とエネルギーについて	派遣団提供プログラム(福岡)
40	郷土文化の紹介	「なんこ」ゲーム体験	派遣団提供プログラム(鹿子島)
41			九州 派遣団提供プログラム
42			九州 派遣団提供プログラム
43		山口県内の文化紹介	社団法人山口県観光連盟
44		山口県内の文化紹介	山口県庁
45		山口市の文化紹介	山口市
46	日本の歴史文化	日本の伝統文化紹介	JETRO、(他、支援協力)
47	クールジャパン	日本の「クールジャパン政策」の紹介	(支援協力依頼)
48	ムービーフェスタ	アニメ動画コンテンツ等の提供	(支援協力依頼)

※ ブース数は48ブース想定

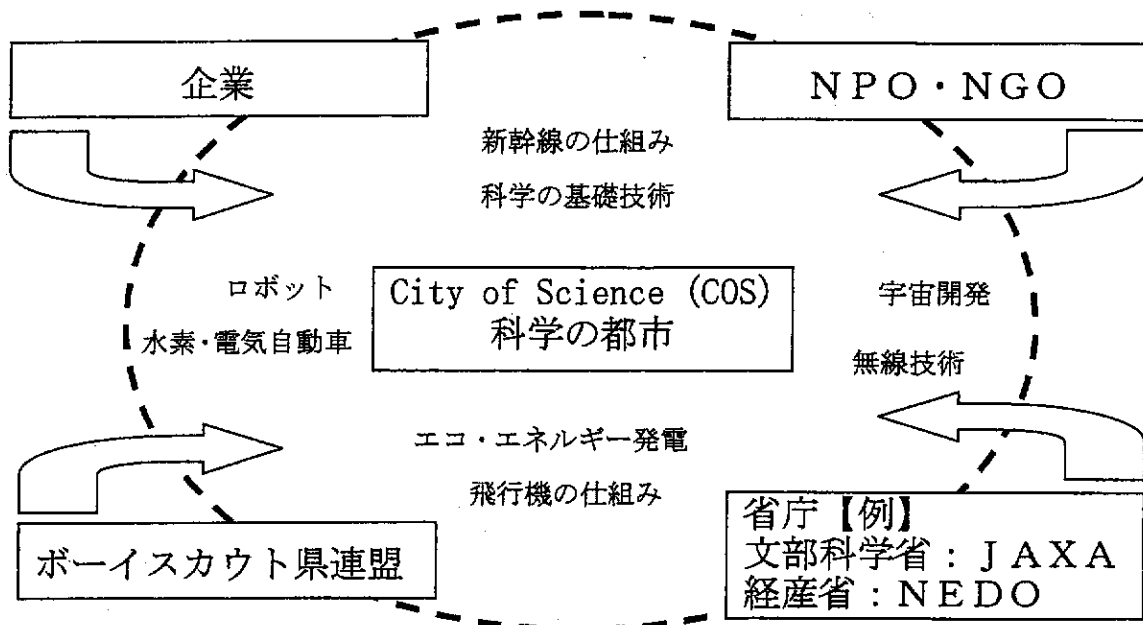
シティ・オブ・サイエンス City of Science (COS) について

(1) 概要

科学の都市は1日のモジュールプログラムで、自動車、新幹線、発電、電波といった最先端の科学技術を体験し、無線・インターネット、プログラミング、飛行機、自然災害の仕組みといった基本的な科学技術を学ぶプログラムを通して、工業立国日本を理解すると共に、科学技術の進歩、科学の恩恵と問題点に対する理解を深める。

将来のエネルギーについては燃料電池の開発を、そして環境問題、ロボット、自動車等の技術を学ぶ場とする。

(2) イメージ図

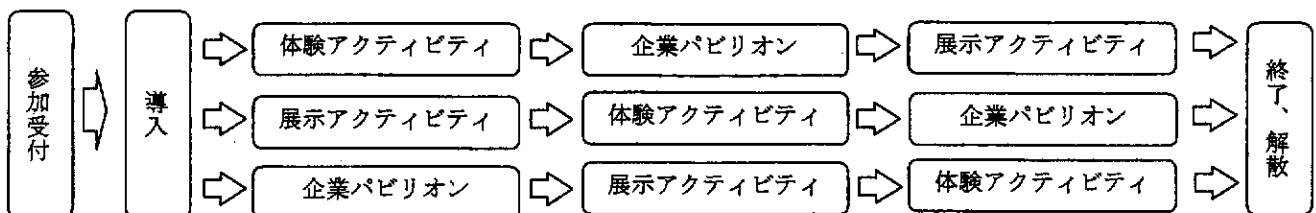


(3) 教育目標 (例)

アクティビティ終了までにスカウトが以下の項目を達成していることを目標とする。

- ・科学の最先端技術に触れ、科学への興味を持ち、見聞を深める
- ・科学の基礎技術を知ること、身近な生活へ活用を知る
- ・ジャンボリー終了後、科学技術をより知ろうと思うきっかけを作る

(4) 参加の流れ (検討中)



(5) 修了方法 (検討中)

- ① 60分間体験プログラムに1回参加すること
- ② 展示・体験ブースに2回参加すること (16NJでは1回)
- ③ 企業パビリオンに1回参加すること

(6) 実施に関して

①プログラム数：32プログラム

②プログラム提供方法（いずれかの方法を選択）

体験アクティビティ形式：体験アクティビティでは、20人から40人程度を対象に、スカウトが体験を通じて科学の基礎を学ぶ60分間のプログラムを提供します。

展示ブース形式：展示ブースでは、写真やパネル等により、参加スカウトに基本的な科学技術を知る機会を提供します。展示に関する問題やアイデアを記入することが出来るワークシート等を活用し、より理解を深めるプログラムが考えられます。

③参加者数想定

体験アクティビティの場合…1回あたり40人程度、1日合計240人程度

展示ブースの場合…1回あたり20人程度、1日合計400人程度

	8月2日(金)	8月3日(土)	8月4日(日)	8月5日(月)	8月6日(火)
1日	4400	2200		3800	★2800

④実施時間帯

	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時
体験アクティビティ	←→	←→	←→	昼食・休憩		←→	←→	←→	
展示ブース	←→	←→	←→			←→	←→	←→	

⑥ワークショップ・展示ブースの展開について

体験アクティビティの場合	展示ブースの場合
0	0
↑ 導入：プログラム趣旨理解促進ゲーム (10分)	↑ 展示エリアの見学 (15分)
↓ 10	↓ 10
↑ 体験アクティビティ (35分)	↑ ワークシートへの記入 (10分)
↓ 20	↓ 20
↓ 30	↓ 30
↑ 参加者発表・競争等 (10分)	↑ 振り返り・わかちあいの時間 (5分)
↓ 40	↓ 40
↓ 50	↓ 50
↑ 振り返り・わかちあいの時間 (5分)	
↓ 60	↓ 60

⑦各ワークショップ・展示ブースへの貸与物（調整中）

テント (3.6m x 5.4m) …1張り

机 (180cm x 45cm x 70cm) …2卓

パイプ椅子…4脚

※但し、テントにおける電源の供給はありません

(7) 16NJにおけるシティ・オブ・サイエンス (COS) の実施アクティビティ例

	形式	内容	実施依頼先案
1	企業パビリオン	-	企業
2	企業パビリオン	-	企業
3	企業パビリオン	-	企業
4	企業パビリオン	-	企業
5	企業パビリオン	-	企業
6	企業ブース	-	企業
7	企業ブース	-	企業
8	企業ブース	-	企業
9	企業ブース	-	企業
10	企業ブース	-	企業
11	ブース	脳の科学	-
12	ブース	深海の世界 (生態系、高水圧での生活など)	-
13	ブース	高地の世界 (生態系、高山病、低気圧での生活など)	-
14	ブース	宇宙の世界 (衛星、探査機、惑星など)	(支援協力依頼)
15	ブース	ロケットの仕組み、ペットボトルロケット飛ばし	
16	ブース	-	山口大学
17	ブース	-	山口県内 工業高校
18	ブース	無線通信の基本原理・技術を知るワークショップ	日本ボーイスカウトアマチュア無線クラブ
19	ブース	ソーラー水素ステーション、ロボット「アシモ」のペーパークラフト	派遣団提供プログラム(埼玉)
20	ブース	飛行期が空飛ぶ原理を知る	派遣団提供プログラム(千葉)
21	ブース	ミクロ (電子顕微鏡) の世界	派遣団提供プログラム(神奈川)
22	ブース	深海調査船 or JAXA の宇宙開発	派遣団提供プログラム(神奈川)
23	ブース	(詳細検討中)	派遣団提供プログラム(東京)
24	ブース	(詳細検討中)	派遣団提供プログラム(東京)
25	ブース	(詳細検討中)	派遣団提供プログラム(静岡)
26	ブース	太陽光を利用した発電について	派遣団提供プログラム(兵庫)
27	ブース	油圧機械(パワーショベル)により仕組みを学ぶ	派遣団提供プログラム(愛媛)
28	ブース	鉄の作り方を学ぶ	派遣団提供プログラム(福岡)
29	ブース	マイクロ水車による発電実験 -	派遣団提供プログラム(愛知)
30	ブース	カメラの仕組みを知る	派遣団提供プログラム(愛知)
31	宇宙開発、国際協力	航空宇宙開発、ISS (国際宇宙ステーション) = きぼう実験棟活動の紹介等	(支援協力依頼)
32	新エネルギー	化石燃料、原子力に代わる次世代エコエネルギーの紹介等	(支援協力依頼)

※ ブース数は32ブース想定